

「GoTo キャンペーンは必要ですか？」

令和2年7月22日

●シクラメンさんからの質問

西田先生こんにちは早速質問に入らせていただきます。菅官房長官と小池都知事との間で対立が発生しています。菅官房長官は、東京問題になりつつあると発言しました。これに小池都知事は、検査を積極的にやっているのは東京であると述べゴートゥーキャンペーンをやっていく上で仕切りをやっていくのは国の問題だと述べました。大阪や山形の知事からも反対する旨が述べられております。西田議員は、ゴートゥーキャンペーンは、必要とお考えかどうかお聞かせください。

●西田昌司の答え

私は観光立国調査会の会長代理を務めています。現在、観光業界はコロナウイルスの影響で大変な状況となっておりますが、これは政府の自粛要請が大きな原因です。コロナウイルスによる健康被害を抑えるために必要ではありましたが、コロナが騒ぎ始められてから半年が経過した今としてみると、過剰自粛な面もあったと思われまし、観光業界を活気付ける GoTo トラベルキャンペーンは大いにやれば良いと思います。

何故か日本においてはコロナウイルスに感染しても重症化しにくく、死亡率もアメリカ等と比べて桁違いに低くなっています。最近、新規感染者が増えていると言われてはいますが、これは検査数がそもそも増えているからです。4月頃は、PCR 検査を受けたくても自由に受けることができませんでしたし、コロナの感染が疑わしい人だけが受けていました。しかし、最近では症状がなくても受けることが推奨されたり、新宿区のように陽性判明者に10万円の見舞金を出すとすると PCR 検査数が増えますので、その結果、新

規感染者が増えているのです。

一方、重症患者の数はどんどん減っていますし、死亡者数についてはほとんど頭打ちとなっています。コロナウイルスは非常に毒性が弱く、感染したとしても無症状の場合が多いですし、特に10代、20代の健康な若者に関しては、リスクはほぼゼロです。高齢者や基礎疾患を持つ人に対してのリスクは無視できませんが、現在、病床数に余裕があって医療崩壊からはほど遠い状況ですので、必要以上に恐れることはありません。

通勤電車等の公共交通機関においてクラスターが発生したという報告はありません。私の同僚で、医者であり、ウイルスに詳しい古川俊治参議院議員によると、換気が良くて皆が黙っている空間においては感染のリスクはほぼゼロですので、観光のための移動を制限する必要はありませんし、濃厚接触しない限りクラスターは発生しません。

宴会をやって皆で大騒ぎをしたり、ライブハウスのような密閉した空間で熱狂したり、カラオケでマイクの使い回しをすれば飛沫感染のリスクは高まりますが、逆に言うとそういったことを避ければ感染を抑えることは十分可能です。コロナウイルスのリスクをゼロにすることはできませんが、コロナウイルスだけがリスクではありませんし、人間、死ぬまで様々なリスクに晒されながら生きていかなければならないのです。

コロナウイルスによる死者よりも交通事故で亡くなる人の方が多いですし、コロナウイルスが原因の不況が招く経済苦で自ら命を絶つ人もいます。コロナウイルスのリスクばかりが語られていますが、トータルのリスクをいかに減らすかを考えなければなりませんし、そのためには感染を抑えながらいかに経済を回すかが重要です。GoToトラベルキャンペーンは、経済を立て直すことに主眼が置かれていますし、何よりも自粛によって塞いでしまった精神を元気にするためにも非常に良い企画だと思います。

GoToトラベルキャンペーンを反対する人の中には、少しのリスクも許容

できない考えの人が少なからずいますし、そういった人の恐怖を煽るような無責任な報道が多くされています。また、反安倍をやりたい人がコロナウイルスを利用しているという面もあります。

安倍政権のコロナウイルス対策を批判すれば安倍政権の支持率を下げるができますし、特に左翼系の報道機関は反安倍になることであれば何でも飛びつきたがる傾向があります。森友・加計問題と同じく、GoTo トラベルキャンペーンも安倍政権の足を引っ張る格好の材料なのです。しかし、家族や友達と少人数で旅行する程度であれば、コロナウイルスに感染することもまずありません。大いに旅行を楽しんでいただきたいですし、そうやって旅行先でおカネを落としてもらえば、旅行先の経済も潤って一石二鳥です。

私の後援会は毎年9月頃に旅行イベントを行っています。多い時は800人程度が参加しましたし、今では100~200人程度になってしまったものの、それでも大きな団体旅行です。今年もやりたいのは山々でしたが、コロナウイルスのこともあって中止という苦渋の決断をしました。宴会をしてお酒を注いだり注がれたりすればクラスターが発生しかねませんので中止も止むを得ませんでした。その代わりに「旅行に行く余裕のある方は是非ともGoTo トラベルキャンペーンを利用してください」と呼びかけました。

このように私が言うと、「今のこの時期に旅行を勧めるなどけしからん」といった具合に、鬼の首を取ったように批判する人が少なからずいることでしょう。こういった人は、少しのリスクも許容できずに、コロナに過敏になっているのですが、そのような偏狭な考えから解放される方が皆が幸せになると思います。

旅行を勧めることによって経済が回るのみならず、(精神的に充足する等の)経済尺度では表せない部分でもプラスの面があります。(コロナが感染しないよう)節度を守りながらの旅行であれば全く咎めることはありませんし、大いに楽しんでください。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>